

評価事例 3

単元名	第5学年 Unit3 What do you want to study?
単元の目標	自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科やなりたい職業について、話すことができる。 「話すこと [発表] ア」
言語活動	もし休校になったらどのように1日の学習を進めるか考え、オリジナルの時間割を作成する。自分の考えた時間割について知ってもらうために、学びたい教科やなりたい職業などをグループの友達に発表する。

評価の進め方

児童を3～5人のグループに分け、グループ内で自分の考えた時間割について発表する。教員とALTは、発表の様子を見ながら分担して評価をする。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈知識〉 曜日や教科、職業などを表す語句や What do you want to study? I want to study ～. What do you want to be? I want to be ～.の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 学びたい教科やなりたい職業について、上記の語句や表現等を用いて、話す技能を身に付けている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科やなりたい職業について、話している。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科やなりたい職業について、話そうとしている。</p>



思考・判断・表現の判断基準

A：十分満足できる状況	「B」に加えて、既習の語句や表現を用いて、更に詳しく伝わるように話している。
B：おおむね満足できる状況	オリジナルの時間割や学びたい教科、なりたい職業を話している。
C：努力を要する状況	「B」を満たしていない。

評価例 (S = 児童, T = 教員)

Aとなる例	Bとなる例	Cとなる例
<p>This is my timetable. (自分の時間割を示して) Japanese, math, music, P.E., English and science. (音楽を指差しながら) I want to study music. I want to be a singer. I like music very much.① Thank you.</p>	<p>This is my timetable. (自分の時間割を示して) Japanese, math, music, P.E., English and science. (音楽を指差しながら) I want to study music. I want to be a singer. Thank you.</p>	<p>S: This is my timetable. (自分の時間割を示して) Japanese, math, music, P.E., English and science. (音楽を指差しながら) I want to study music. ... T: なりたい職業は何ですか S: I want to...</p>
<p>理由 オリジナルの時間割や学びたい教科、なりたい職業を話しているだけでなく、①I like music very much.と情報を付け加えて、更に詳しく伝わるように話している。 話題と関連して、Do you like music? などと聞き手に問い掛けることも考えられる。</p>	<p>理由 オリジナルの時間割や学びたい教科、なりたい職業を話している。</p>	<p>理由 オリジナルの時間割や学びたい教科は話しているが、なりたい職業を話していない。そのため、自分の考えた時間割について十分に伝わらない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「C：努力を要する状況」と判断した児童に対する指導や支援については、「指導・支援アイデア集」を参照</p> </div>

指導のポイント

- ・オリジナルの時間割を考える際に、イメージマップやXチャートなどを活用したワークシートを使って、学びたい教科やなりたい職業などに関連付けて考える場面を設ける。
- ・ワークシートに整理して書いたことを英語で伝えるには、どのような語句や表現を知りたいか、既習の語句や表現をどのように使って話せば良いかを考えさせる。